

関西電力の電気料金値上げに関する申し入れ

昨年 12 月 24 日に、経済産業大臣に認可申請がなされた関西電力株式会社の電気料金の再値上げについて、4 月 21 日に同省の電気料金審査専門小委員会から査定方針案が示されたところである。

同社は、一昨年に家庭等の規制部門で平均 9.75%、自由化部門で 17.26%の電気料金の値上げを実施し、本年 4 月には自由化部門でさらに 13.93%の再値上げを実施しているが、わずか 2 年という短期間において、再度、大幅な値上げを行うことは、府県民の生活や中小企業をはじめとする産業活動に極めて大きな影響を及ぼすものである。

関西広域連合としては、昨年 12 月 25 日には同社から説明を聴取するとともに、同社に対して申し入れを行ったが、経営の効率化に向けた取組みや説明が十分になされているとは言えず、このような状況の中、電気料金の再値上げが実施されることには強く反対する。

このため、今回の同社からの電気料金の再値上げ認可申請に対し、認可権限のある国として、以下の事項について厳正に対処するよう申し入れる。

記

1 認可申請に対する厳正な査定

電気料金の再値上げ認可申請の査定にあたっては、パブリックコメント等で寄せられた府県民等からの切実な声を真摯に受けとめ、コスト削減をはじめとした経営の効率化に向けた取組みについて、関西電力に徹底的に情報を開示させた上で、関西の府県民に十分に理解が得られるよう、厳正な査定を行うこと。

その上で、今回の再値上げが真に必要なもので無い限り、認可を行わないこと。

2 関西電力株式会社への指導

関西電力株式会社に対し、経営の効率化に向けたさらなる取組みを強く求めるとともに、関西の府県民への説明責任を十分果たすよう指導すること。

平成 27 年 5 月 8 日

関西広域連合

連 合 長	井 戸 敏 三	(兵庫県知事)
副連合長	仁 坂 吉 伸	(和歌山県知事)
委 員	三日月 大 造	(滋賀県知事)
委 員	山 田 啓 二	(京都府知事)
委 員	松 井 一 郎	(大阪府知事)
委 員	平 井 伸 治	(鳥取県知事)
委 員	飯 泉 嘉 門	(徳島県知事)
委 員	門 川 大 作	(京都市長)
委 員	橋 下 徹	(大阪市長)
委 員	竹 山 修 身	(堺市長)
委 員	久 元 喜 造	(神戸市長)